

牛の異常産をワクチン接種で予防しましょう！

- ◆下表のウイルスはヌカカに保有され東・東南アジアから気流で運ばれ牛に感染し異常産を引き起こします。
- ◆昨年、異常産関連ウイルスの府内調査で複数農場からアイノウイルスの抗体を検出し侵入を確認しました。
- ◆近年では温暖化によりヌカカの生息域が広がり生息期間も延長しているとの報告もあることから、適切なワクチンを春先に接種することで予防しましょう。



疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	チュウザン病	ピートンウイルス感染症
発生状況		R7.1月西日本 R7.4月西日本	R6.7月西日本	
感染時期	初夏から晩秋			
症状	異常産 死流産 体形異常 神経症状	異常産 体形異常 盲目 起立不能	異常産 神経症状 盲目 起立不能	異常産 体形異常 死流産
予防方法	アカバネ病 ワクチン			
	異常産 4 種混合ワクチン			



◎ 4 種混合ワクチンの初年度接種は 2 回必要です。

◎ 流死産、奇形などが発生しましたら、当所へご連絡ください。

京都府丹後家畜保健衛生所（京都府家畜畜産物衛生指導協会丹後支部）
TEL：0772-43-1125（休日・夜間転送） FAX：0772-43-1124